

桑名正隆	ITP に関する免疫学的研究の進歩	日本臨床	61: 670-675, 2003.
桑名正隆	樹状細胞のサブセット	臨床検査	47: 267-273, 2003.
桑名正隆	樹状細胞	血液・腫瘍・免疫	8: 100-106, 2003.
安岡秀剛、桑名正隆	ベーチェット病の病態における MICA 反応性 CD8 <sup>+</sup> T 細胞の関与	臨床免疫	39: 475-478, 2003.
桑名正隆:	CD40/CD154 相互作用遮断による Tr 細胞の誘導	臨床免疫	39: 228-231, 2003.
桑名正隆	自己免疫疾患における CD40/CD154 シグナル阻害療法	日本臨床免疫学会会誌	26: 259-266, 2003.
桑名正隆、池田康夫	自己免疫疾患に対する抗 CD154 抗体療法	最新医学	58: 81-87, 2003.

## V. 平成15年度班会議プログラム

厚生労働省科学研究費補助金 特定疾患対策事業

平成 15 年度

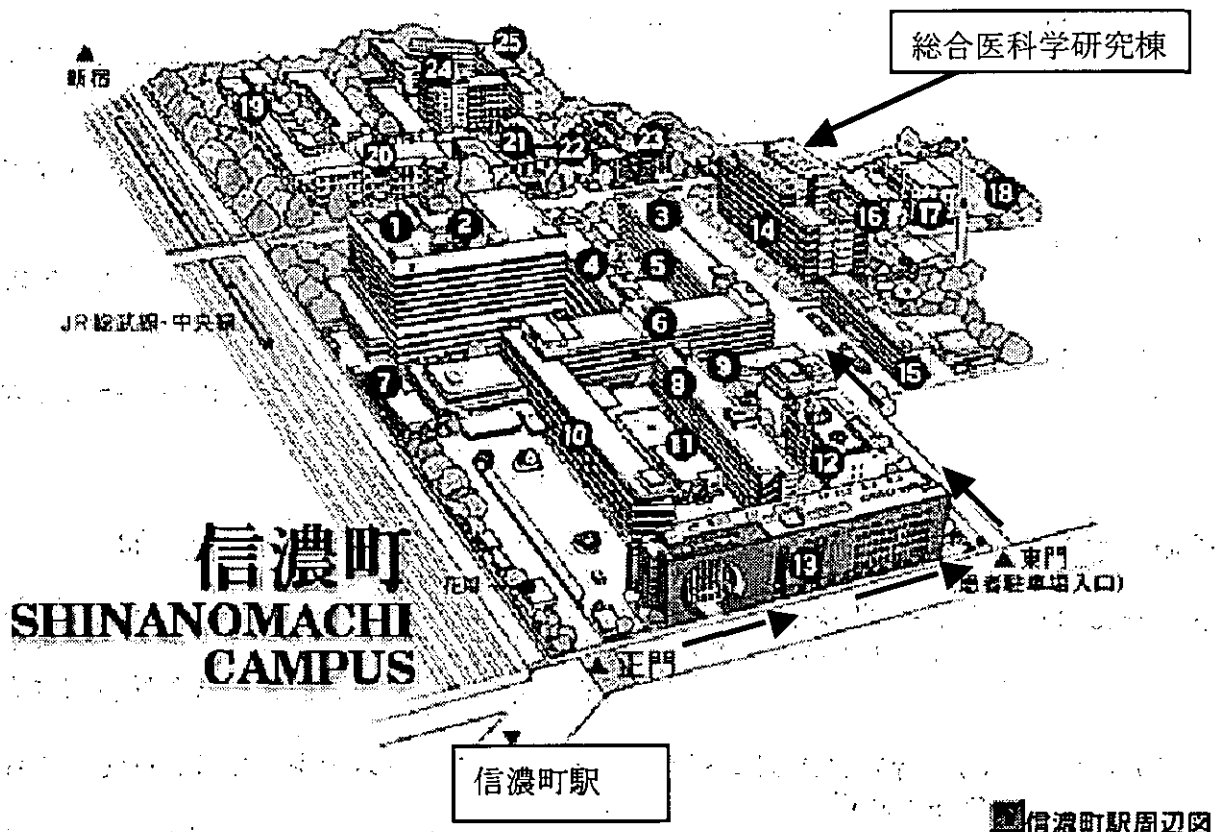
特定疾患に対する自己免疫モデル開発研究班班会議

日時：平成 16 年 2 月 18 日（水）14:00～19:00

場所：慶應義塾大学医学部 総合医科学研究棟会議室 7  
(総合医科学研究棟 7 階南側)

主任研究者 天谷雅行

連絡先： 〒160-8582 新宿区信濃町 35  
慶應義塾大学医学部皮膚科  
TEL：03-5363-3425  
FAX：03-3351-6880  
E-mail：[amagai@sc.itc.keio.ac.jp](mailto:amagai@sc.itc.keio.ac.jp)



プログラム (発表時間 10 分、討論 5 分)

14:00 開会の辞 天谷雅行

14:00-14:15 特定疾患に対する自己免疫モデル開発研究班の方向性について  
天谷雅行 (慶大皮)

天疱瘡モデルマウスの解析 座長：西川武二

14:15-14:30 天疱瘡モデルマウスの免疫電顕法による解析  
清水 篤、石河 晃 (慶大皮)

14:30-14:45 マウス胸腺における天疱瘡抗原発現様式の解析  
和田直子、天谷雅行、山田健人 (慶大皮、病理)

疾患モデルを用いた治療評価系の確立 座長：桑名正隆

14:45-15:00 天疱瘡モデルマウスを用いた免疫抑制療法の評価  
高江雄二郎、天谷雅行、西川武二 (慶大皮)

15:00-15:15 天疱瘡モデルマウスに対する抗 CD40L 抗体療法の効果  
青木三代、天谷雅行、西川武二 (慶大皮)

15:15-15:30 自己免疫疾患に対する CD40-CD154 シグナル阻害療法の現状  
桑名正隆 (慶大先端研)

15:30-15:45 天疱瘡自己抗体病的活性のデジタル測定法の開発  
石井 健、田中 勝 (慶大皮)

— 休憩 (30 分) —

疾患モデルマウスを利用した自己免疫疾患病態の解明 座長：松井 稔

16:15-16:30 ナイーブ脾細胞移植による天疱瘡モデルマウスより得られた抗 Dsg3 モノクローナル抗体の解析  
角田和之 (慶大歯科口腔)、天谷雅行 (慶大皮)

16:30-16:45 Dsg3 特異的 B 細胞トランスジェニックマウスを用いた B 細胞免疫寛容獲得機序の解析  
大田孝幸 (慶大皮)、小安重夫 (慶大微生物免疫)

16:45-17:00 天疱瘡自己抗原ノックアウトマウスを用いた病原性を有する自己反応性 T 細胞の同定および解析  
高橋勇人、天谷雅行、河上裕、桑名正隆 (慶大皮、同先端研)

17:00-17:15 Apolipoprotein E (アポE) ノックアウトマウスにおける実験的自己免疫性脳脊髄炎 (EAE) の増強  
山村 隆、中西 恵美、荒浪 利昌、佐藤 準一  
(精神・神経センター免疫)

新規疾患モデルマウスの作成 座長：山村 隆

17:15-17:30 ノックアウトマウスを駆使したムスカリン性アセチルコリン受容体の機能解析  
松井 稔 (東大医科研神経)

17:30-17:45 ムスカリン性アセチルコリン受容体を標的とした自己免疫反応の誘導  
小安重夫 (慶大微生物・免疫)

17:45-18:00 受動免疫によるギラン・バレー症候群モデルマウス作製の試み  
駒ヶ嶺 朋子 薄 敬一郎 結城 伸泰 (獨協医・神内)

18:00-18:15 新規デスモグレイインDsg4の天疱瘡における反応性と自己免疫性脱毛症モデルマウス作成の試み  
長坂 武、西藤公司、山上 淳、天谷雅行 (慶大皮)

18:15-19:00 総合討論

19:00 閉会の辞

天谷雅行

19:10- 懇親会